

農業会議だより

第52号（令和6年11月） 発行：一般社団法人佐賀県農業会議

1. 農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催
2. 地域計画の策定推進についてのグループワークを開催
3. 農地利用の最適化の取り組みを強化するための意見書を県に提出
4. 女性農業委員の活動について
5. 基山町農業委員会の取り組みについて
6. 農業者年金の加入推進について
7. 全国農業新聞の普及推進について
8. 新任職員の紹介
9. 常設審議委員会の結果（9・10月）
10. 行事予定

1. 農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催

農業会議は、農業情勢の把握と地域計画の策定や農地利用の最適化に向けた取組みを推進するため、9月10日、11日に上峰町及び鹿島市で「令和6年度農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」を開催し、約580人が参加しました。

最初に全国農業会議所農地・組織対策部農地利用最適化担当部長の佐藤陽平氏より「農業をめぐる情勢と農業委員会の役割」について説明されました。

本年5月に農業政策の基本となる「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、食料安全保障の確保が基本理念の柱に位置付けられるとともに、農振法、農地法等も改正され、食料生産の基盤である農地の総量確保や適正利用のための措置が講じられることや相続登記の義務化の概要等について説明がありました。また、地域計画の策定については、農業者による地域での話し合いを通じて地域農業のあり方を決めることが大切だと強調されました。



次に、多久市農業委員会の永渕会長より、「中山間地域の現状において、農業委員会としてできること」をテーマに取組事例を報告されました。

永渕会長は、「中山間地域は農家の高齢化が深刻だ。加えてイノシシ等の鳥獣被害により農家の営農意欲は減退し、集落は衰退の一途だ」と話されました。また、自身のレモン栽培をはじめ海外での柑橘類の栽培指導の経験や熱中症等の苦労話で会場を沸かせました。そして、「農業経営も農業委員会活動も現場が第一だ」、「普段からの農地パトロールの実施や活動日誌の記入徹底等をしっかりとしましょう」と熱く語られ、会場の農業委員・推進委員にエールを送られました。

最後に、佐賀県農林水産部農業経営課の吉田係長から、地域計画策定の進捗状況や地域外からの企業参入の事例（多久市）について説明されました。

参加した農業委員・推進委員からは、「地域ぐるみで農業を守って行かなければならない」、「将来のため次世代に耕作できる農地を耕作できる状態で引き継ぐことが大事。農業委員の役割を改めて認識できた」などの意見がありました。



2. 地域計画の策定推進についてのグループワークを開催！！

～農業委員会職員地区別研修会～

佐賀県農業委員会職員協議会(会長：佐賀市農業委員会 福岡事務局長)は、農業会議と共催で下記の日程・場所等で農業委員会職員地区別研修会を開催しました。

地区名	日程	場所	参加人数
杵藤地区	8月19日(月)	鹿島新世紀センター	29名
東西松浦地区	8月28日(水)	有田町婦人の家	23名
佐城・三神地区	9月26日(木)	多久市中央公民館	22名

令和7年3月までに策定する地域計画の現状と課題について、グループ内で意見交換しました。

【グループワークで出された主な課題・意見】

- ・地域計画の目的について農家へ周知不足。そのため話し合いが進まない。
- ・5年、10年先の耕作者は分からない。
- ・地域計画の話し合いをしても農家の参加が少ない。
- ・地域計画を作るにしても地域のリーダーがいらない。
- ・地域計画はもっと狭い範囲(集落単位)で作成する方がいいのではないか。
- ・地域計画の協議の場へ市役所の職員が出向くようにしているが業務の負担になっている。
- ・地域計画の話し合いで農家の意見がまとまらない。
- ・地域計画と農地転用の関係はどうなっているのか。

今後も職員研修会を通し農業委員会業務の課題について、協議を深めていきたいと考えています。



3. 農地利用の最適化の取り組みを強化するための意見書を県に提出 ～農業者の意見・要望を県に伝える～

農業会議の大園会長（佐賀市農業委員会会長）、山崎副会長（唐津市農業委員会会長）は、10月17日に「農地利用の最適化の取り組みを強化するための意見書」を県農林水産部の島内部長に提出しました。

この意見書は令和5年度に各農業委員会で実施された農業者との意見交換会の結果等を取りまとめたものです。



【意見書の項目】

- (1)食料・農業・農村基本法の改正に伴う基本計画の策定について
- (2)担い手の確保・育成について
- (3)地域計画の策定推進及び策定後の見直しに対する支援について
- (4)中山間地域農業の振興と有害鳥獣被害軽減対策について
- (5)共同利用施設の再編整備や土地改良施設の再整備の充実強化について
- (6)農地法及び農振法等改正後の指導について
- (7)農業委員会の体制整備と交付金等予算の確保について
- (8)農業会議の運営予算等の安定確保について

意見書を提出した後、島内部長と地域計画の策定推進や担い手の確保・育成対策、鳥獣被害など農家が直面している課題等について意見交換を行いました。

【意見交換の主な内容】

大園会長より

- ・農作業の効率化を図り農家の負担を軽減するため、担い手への農地集積・集約化を進め、将来の農業を担う若い者が農業をやってよかったと言えるよう県の支援をお願いしたい。また、平坦部ではカモによる農作物の食害で困っている。被害対策の強化をお願いしたい。

山崎副会長より

- ・中山間地域では農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻である。
また、イノシシ、サル等の鳥獣被害により農家の営農意欲が減退している。
ワイヤーメッシュ等で守ることも大切であるが限界感である。猟友会の会員も高齢化し後継者が少ないと聞いている。引き続き支援の充実をお願いしたい。

島内部長より

- ・本県の農業振興を図るうえで担い手の確保や農地の活用促進等の対策に取り組むことは重要であり、意見書を踏まえ県の施策の参考としていきたい。また、国へもしっかり要請していきたい。
 - ・担い手対策に関しては、新規就農者よりも高齢化等で離農される人が多い状況であり、新規就農者を増やしていけるよう予算措置をするとともに、事業内容等の検討を進めている。
 - ・鳥獣被害については、あらゆる対策を講じて効果を見極めながら取り組んでいきたい。
-

4. 女性農業委員の活動について

令和6年7月に武雄市農業委員会会長に就任された岩橋久美氏に、会長としての抱負や今後の意気込み等についてインタビューしました。

平成21年7月 武雄市農業委員に就任(5期目)
平成30年8月 佐賀県農業委員会女性協議会会長に就任
令和6年7月 武雄市農業委員会会長に就任



(1) 武雄市農業委員会会長としての抱負と今後の意気込みについて

農業委員と推進委員が仲の良い、何でも気軽に話せる農業委員会にしたい。

また、委員が総会で意見を出しやすい雰囲気づくりを心掛けるとともに、事務局長も女性なので、女性ならではの細かい所に配慮できる委員会にしたい。

(2) 地域農業の課題への対応について

農地パトロールを積極的に行うことがまず第一。農地の見回りと農家の話を聞くことができ、おのずと課題が見えてきます。農家の皆さんが困っていることや悩みなど日頃からの相談活動に取り組んでいきたい。

(3) 農業委員会の活動で力を入れていること

地域計画の策定にあたっては、耕作している農地を耕作できる状態で次の世代に残していくことが大切です。遊休農地をこれ以上増やさないよう保全管理を促す活動に取り組みたいです。

(4) 女性委員へのメッセージ

「農業委員は男性」という意識をなくして、女性ならではの視点で活動してほしい。

11月20日、21日に佐賀市で開催する九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会は、女性委員がしっかりと協力しあい、おもてなしをして盛り上げていきましょう。



5. 基山町農業委員会の取り組みについて

【農業委員会の体制】

任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日

農業委員 11 名、農地利用最適化推進委員 3 名、事務局 3 名

(1) 基山町の農業について

本町は、県の東端に位置し、福岡県筑紫野市、小郡市に隣接しており、佐賀県の東の玄関口となっています。本町の耕地面積に占める半数以上の面積は水稲が作付されており、その 90%以上が主食用米となっています。

町内平坦地域では、集落営農を中心とした水稲、麦、大豆の生産やアスパラガスのハウス栽培が広く行われています。山間部や丘陵地では、古くから傾斜地を利用した柿、茶の生産が行われており、特産品となっています。

また、施設園芸によるライチ、トマト等の生産や耕作放棄地を活用したエミューの飼育も町を挙げて積極的に支援しています。

(2) 農業委員会活動の概要について

毎月の定例会での法令業務に加え、農地利用最適化業務（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）への取り組みを主体とした活動をしています。また、地域計画の策定にあたり、委員として積極的に協議の場へ参加しています。（写真上）

さらに、地域で育つ子どもたちに田植えから稲刈りまでお米づくりの一連の流れに直接関わってもらい、生産することの大変さや喜び、食べものや命の大切さ、農業への意識・理解を深めることを目的とし、小学校と連携した農業体験活動の場の提供に取り組んでいます。（写真下）



6. 農業者年金の加入推進について

加入状況一覧

市町名	目標	8月	9月	計	達成率	達成まで
佐賀市	8	1	0	5	63%	3
唐津市	12	0	0	1	8%	11
鳥栖市	1	0	0	0	0%	1
多久市	1	1	0	1	100%	達成
伊万里市	4	0	0	0	0%	4
武雄市	2	0	0	0	0%	2
鹿島市	3	2	0	4	133%	達成
小城市	3	0	0	0	0%	3
嬉野市	2	0	0	0	0%	2
神埼市	2	0	0	0	0%	2
吉野ヶ里町	1	0	0	0	0%	1
基山町	1	0	0	0	0%	1
上峰町	1	0	0	0	0%	1
みやき町	1	0	0	0	0%	1
玄海町	2	0	0	1	50%	1
有田町	1	0	1	1	100%	達成
大町町	1	0	0	0	0%	1
江北町	1	0	0	0	0%	1
白石町	7	2	0	6	86%	1
太良町	3	0	0	2	67%	1
計	57	6	1	21	37%	36

8.9月は併せて7件の新規加入がありました。前期(4~9月)は、**21件**の加入がありましたが前年度同期(29件)少ない状況です。※前年度最終実績は66件

後期(10~3月)は、多くの市町で【加入推進強化月間】が設定されています。目標達成に向けて計画的に推進活動を行っていただき、全世代はもちろん、**青年組織や女性組織の各種会合等の場を活用するなどして、若い世代(20~39歳)や女性へ積極的な働きかけをお願いします！！**

佐賀・みやき町 牛島久恵さん

【佐賀】みやき町でアスパラガスを栽培する牛島久恵さん(33)は、2020年から親元就農し、今年4月に15坪の農地で独立経営を開始した。

農業者年金に政策支援加入したのは22年。当時農業委員だった父・和昭さん(68)に勧められたことがきっかけだった。和昭さんは50代で会社を辞めて就農した。その後農



農業者年金加入のきっかけは農業委員だった父からの勧め

「国庫補助が受けられるうちに制度を知って加入できたのが本当にありがたい。農業は天候によって左右される。収入が一定ではないため将来の不安はあるが、老後は年金があると思うととても安心できる」と話す久恵さん。

農業の大変さを知り、「両親を少しでも楽にしたい」というのが今一番の願いだ。

業委員になるまで農業者年金を受け取っており「年金がずっと来るのは本当に助かる。国民年金だけでは後々食っていけない。農業者年金は国の制度で安心できるし、若い人には保険料の国庫補助もある。早いうちから入っておいたほうがいい」と、周りの農業者にも加入を勧めている。

全国農業新聞 令和6年10月4日付

12月11日(水)に農業者年金基金の主催で、農業者年金の特徴やメリットについてオンラインセミナーが開催されます。→次ページ

農業委員・推進委員をはじめ、農業者年金に興味がある方はどなたでも参加できますので、参加および加入推進活動として参加の呼びかけをお願いします。

※参加費は無料ですが、12月10日(火)までに事前申し込み(定員達し次第終了)が必要です。農業会議のホームページからも申し込みができます。

農業者だけ
の特権です。

／知って得する！！／

農業者年金 オンラインセミナー

参加費無料
事前登録制

～ほったらかし・低リスク投資で老後の資産形成
節税対策にも活用できる～

本セミナーでは、農業者年金の資産運用の特徴や節税対策への活用方法などを解説します。また、セミナー中は、リアルタイムで質問も受け付けます。

農業者年金や投資・運用などにご興味がある農業者の方は、この機会に是非ご参加ください！！



特にこんな農業者にオススメです！

1. 農業者年金って聞いたことがあるけど、内容がよくわからない方
2. 投資を始めたいけど、運用商品の選択が難しいと感じている方
3. 有効な節税対策の方法をお探し中の方



開催日時
令和6年12月11日(水)
15:00-16:00

- ※1 Webでのオンライン開催（Zoomを使用）となりますので、PCやタブレットなどの端末及びインターネット回線が必要です。
- ※2 災害等の状況によっては、セミナー内容の変更又は中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※3 農業者の仲間やご家族などをお誘い合わせの上、1つのPCで複数人でご参加いただくことも可能です。



講師

（株）ジーステラ エンタープライズ
GSTELLA ENTERPRISE
代表取締役 堀口 浩

32年間在籍した（一社）岐阜県農業会議で、農地制度、経営対策及び農業者年金等の各種事業、農業法人協会等農業経営者組織の運営を担当。その後、独立。これまでの知見を活かし、現在は農業経営に関するアドバイスや各種講演を行うなど幅広く活躍中。

平成18年5月 AFP（日本FP協会）
平成20年5月 経営専門相談員（全国農業会議所）
平成22年5月 農地専門相談員（全国農業会議所）
令和6年5月（株）GSTELLA ENTERPRISE 設立

（主な著書（編集協力））「農業法人の設立」（全国農業会議所）
「農業法人化マニュアル」（全国農業会議所）
「よくわかる農家の青色申告」（全国農業会議所）



お申し込み方法

以下の二次元コードを読み取っていただくか、下記URLにアクセスしていただき、予約フォームに必要事項を記入の上、お申し込みください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_A7ofmMwXTBWaLsliY3ysHQ



先着500名様、限定！

申込締切：12月10日（火）まで（ただし、定員に達した場合は、申込みを締め切ります。）

申込みはお早めに！

※ 受講方法等の詳細については、ご登録いただいたメールアドレス宛てにご案内いたします。

お問い合わせ



独立行政法人
農業者年金基金 企画調整室

☎ 03-3502-3942（令和6年11月1日まで）
03-5919-0332（令和6年11月5日から）
※事務所移転により、電話番号が変更となります。

農業者年金に関する詳細はHPをご覧ください。



<https://www.nounen.go.jp/>



7. 全国農業新聞の普及推進について

今年度目標 1,500 部
～農業委員・推進委員 1 人・1 年・1 部純増を！！～

全国農業新聞 11 月部数

10月23日現在

市町名	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読数
佐賀市	210	168	42	5
唐津市	136	108	28	5
鳥栖市	61	43	18	0
多久市	62	45	17	0
伊万里市	90	62	28	4
武雄市	96	66	30	0
鹿島市	91	66	25	0
小城市	73	56	17	11
嬉野市	69	48	21	13
神埼市	89	65	24	1

市町名	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読
吉野ヶ里町	44	31	13	7
基山町	26	16	10	1
上峰町	22	15	7	2
みやき町	61	29	32	0
玄海町	35	24	11	0
有田町	41	31	10	9
大町町	22	16	6	0
江北町	44	30	14	1
白石町	79	50	29	6
太良町	51	38	13	0
農業会議	98	91	7	
	1,500	1,098	402	65

全国の農業委員会の活動事例が掲載

地域計画策定等の先進事例が掲載され、農業委員会関係者だけでなく農政部局や関係機関、地域の農業者が購読することで地域計画の策定に関する共通認識ができます。

8. 新任職員の紹介

農業会議に 10 月 1 日より採用されました、みやき町在住の稲富 創（いなとみ そう・31 歳）と申します。

農業会議職員として農業委員会をはじめ農業者の皆様を精一杯支援できるよう日々努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



9. 常設審議委員会結果（令和6年9・10月）

農地法第4条、第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構（佐賀県農業会議）に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議されました。

第102回、第103回の件数及び面積については、以下のとおりです。

<農地法関係処理状況>

○審議件数

回数	開催日	区分	件数
第102回	9月17日	第4条	0
		第5条	3
第103回	10月15日	第4条	0
		第5条	7

○田畑別件数及び面積(m²)

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第102回	9月17日	第4条	0	-	0	-	0	-
		第5条	3	17,552	0	-	3	17,552
第103回	10月15日	第4条	0	-	0	-	0	-
		第5条	7	59,061	3	14,989	7	74,050

10. 今後の行事予定

月	日	時間	場所	内容
11	15	13:30	佐賀総合庁舎	第104回常設審議委員会
	20・21	14:00	マリターレ創世	九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会
	27	13:00	東京都	農業者年金加入推進セミナー
	28	13:00	東京都	全国農業委員会会長代表者集会
12	16	13:30	グランデはがくれ	第105回常設審議委員会
	16	15:00	グランデはがくれ	市町農業委員会会長会議
1	22・23	13:30	SAGAアリーナ、県内	第26回全国農業担い手サミットinさが

農業会議だよりの記事募集について

農業委員・推進委員、農業委員会事務局職員より、この「農業会議だより」への情報提供をお願いします。例えば、①遊休農地解消・新規就農事例、②地域計画策定の取組など地域的话题を募集しています。採用された方には粗品を進呈いたします。

問い合わせは、TEL：0952-20-1810 E-mail：sanoukai@sanoukai.jp

担当：佐賀県農業会議 徳永

農業者等の皆様に
役立つ図書の案内

全国農業図書の活用について

令和7年度 経営所得安定対策と米政策 作付け転換に向けた政策支援を紹介

主食用米の需要が減少傾向にあることを踏まえると引き続き飼料用米等への作付け転換が重要です。

そのためには、政策支援を活用して関係者が一丸となって適正生産量を目指す取り組みが欠かせません。

農家への経営所得安定対策の制度周知や米政策の支援をする際に活用できる内容となっております。

令和7年1月中旬刊行予定 【税込 121 円】



参考：令和6年度パンフ

2024 年度版 農家相談の手引き

地域計画、農地転用、認定農業者、簿記、農業者年金等
農家の様々な相談対応に使える！

農業委員・農地利用最適化推進委員をはじめとした地域農業のリーダー等が、農業者から相談を受ける際に制度や施策の要点を説明するために活用できる資料集です。

各種研修会のテキストとして、農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として幅広く使用できる、多くの情報をわかりやすくまとめた必携図書です。【税込 850 円】



農業経営基盤強化促進法 一問一答集 3訂

一問一答形式で分かりやすく解説

制度運用で疑問にぶつかったときの手引きとなるよう農業経営基盤強化促進法と関連通知を踏まえ一問一答形式で解説しています。

令和4年の改正に基づき大幅に改訂。目標地図を含む地域計画の策定（人・農地プランの法定化）、「農業を担う者の確保・育成」の追加、地域計画の達成に向けた農業委員会による農地利用調整活動の促進など重要な制度変更を盛り込んだ253問からなる充実の一冊。【税込 2,530 円】

